

2014年 10月 01日

俳句の会「交譲葉」26年9月句会報告

編集 | 削除

- ①開催日時 26. 9. 27 (土) 10:00~12:00
- ②開催場所 生涯学習センター A-101会議室
- ③参加者 宮内・小西・漆野・朝倉・青木・千葉・小川・秋元・森川・菅原の10名
- ④兼題 「蜻蛉」・「季節の自由題」
- ⑤選句 4点句(1)、3点句(5)、2点句(3)、1点句(8)を選句した。

(4点句:自由題)

肌で聴く一吹(いっすい)の風秋きぬと・・・・・・・・悠閑亭徹心(宮内)



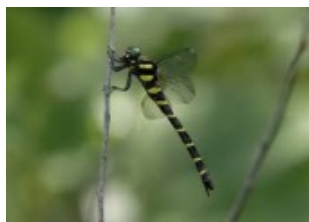
(選評)

「肌で聴く」という最初の5文字の意表を突く言葉の表現に圧倒される。続く7文字「一吹の風」のフレーズもまた作者の独創性のある特異な語彙表現が新鮮な感動を与えている。最後の続く5文字の「秋きぬと」でしみじみ秋の風情が心にしみ込んでゆく様うかがえる秀句である。

俳句のモチーフは総じて観察・見るを主体にする句が多いが、視覚以外の見えなくても存在するもの「風」をモチーフにする試みに敬意を表したいと思う。蛇足ですが「聴く」という漢字は分解すると「耳+目と心」なるほど含蓄のある言葉ではないでしょうか？(妙見 道生)

(3点句:「蜻蛉」)

鬼やんま昂(たかぶ)る子らをからかいし・・・・・・・・漆野 達磨



(選評) 原っぱでしょうか、赤とんぼでも銀やんまでもなくとんぼの王者「鬼やんま」の出現。大はしゃぎで追い掛け回す子供たちと、すいすいと自在に身をかわすとんぼの情景が浮かびます。「昂ぶる」から子供たちの心の高鳴りが溢れ、句に心と体の2つの躍動が満ちています。「からかいし」と、とんぼと子らの関係をとんぼ主体にまとめたところも面白いなと思いました。詠み手自身の経験が懐かしく投影されているのでしょう、視線の暖かさを感じ思わず微笑んでしまいます。改めて、自然とのわくわく関

アバウト



早稲田大学校友会 流山稲門会紹介の場です

by tnagareyama

プロフィールを見る

ファンになる

画像一覧

カレンダー

< February 2023 >

S	M	T	W	T	F	S
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28				

外部リンク [設定]×

流山稲門会 | 早稲田大...

カテゴリ [設定]×

- 全体
- 会からのお知らせ
- 役員会
- 総会・交流会
- 地区分科会
- 散策会
- 囲碁同好会
- ゴルフ同好会
- 湯楽会
- 登山同好会
- 株式同好会
- スポーツ観戦同好会
- カラオケ同好会
- wasejoくらぶ
- 若手の会
- プラチナ倶楽部
- 俳句の会「交譲葉」
- 駅シネマ

係を持てる環境がこの日本にいつまでも続いて欲しいと思いました。(小川 浩美)

夕とんぼ影絵のように浮かび消え・・・・・・・・小西 小牧



(選評)

「秋の日は釣瓶落とし」と言われる位あっとゆう間に日が落ちてしまう。夏が去った秋の季節の西の空に、影絵のようにトンボ達が、光の眩しさの中で、くっきりと浮かびあらわれては消え、現れる。この季節のトンボを季語にすっきりまとめた、とても美しい絵画のような句である。

(菅原互酬)

秋茜ほっこり梢に翅休め・・・・・・・・菅原 互酬



(選評)

秋になると、赤トンボが山地から平地に降り、群れを成して群舞する光景が見られる。雄の腹部は鮮やかな赤色となり、特に秋茜と言う。夕刻群舞に疲れ、木の梢に止まって翅を休めているさまをありありと彷彿させ、“ほっこり”という副詞が情景描写全体に温かさのベールをかけている句である。(悠閑亭徹心)

(3点句：自由題)

遺影据え母も共にの月見膳・・・・・・・・悠閑亭徹心(宮内)



(選評)

月見膳とは、月見の供物の為の膳ではなくて、月を愛でながらちょっとした御馳走の膳を用意したものの事であろう。生前の母親と母娘睦まじく月見の宴を持った作者が、母亡き後も良夜になると一人で母を偲んでいる様子がよく出ている。何故か女性の作と思いついて選句をしたのだが、実は男性の作であったことが分かって、母を偲ぶのは勿論であるが、酒は静かに飲むばかりけり、とやっている姿が浮んできた。(森川 弘志)

仕事部屋扉一枚虫しぐれ・・・・・・・・小川 浩美

会員からのおしらせ
千葉県稲門祭
会報
未分類

最新の記事 [設定] ×

ダイヤモンド富士のその後
at 2023-01-22 11:16

2022年度第6回役員会開催
at 2022-12-24 18:45

3年ぶりに湯楽会開催
at 2022-12-16 23:02

流山稲門会6区忘年会開催
at 2022-12-12 23:32

2022年忘年登山 弘沢の滝..
at 2022-12-12 23:01

以前の記事 [設定] ×

- 2023年 12月
- 2023年 01月
- 2022年 12月
- 2022年 11月
- 2022年 10月
- 2022年 09月
- 2022年 08月
- 2022年 07月
- 2022年 06月
- 2022年 05月
- more...

フォロー中のブログ [設定] ×

クロマチック・ハーモニカ...
早稲田大学校友会千葉県支部

最新のコメント [設定] ×

善福寺川
by 善福寺川 at 06:20

蛇口伴蔵 関戸優希
by 関戸優希 成山裕治 at 06:20

田中優紀
by 成山裕治 at 06:19

カワセミはやはり美しです..
by tngareyama at 15:08

等々力溪谷
by 田中日奈子 at 07:18

等々力溪谷
by 酒井順吉 at 07:17

竹下明希
by 不老祐介 at 07:16

東京都庭園美術館の紅葉は..



(選評)

仕事部屋という堅苦しい空間と虫の鳴く情感漂う空間の対比が面白い。作者がふと仕事の手を止めたとき、虫の音に心が休まったのだろうか。蝉しぐれは時にうるさいが、秋の虫の音は心地好い。その昔は障子越しに御簾越しに聞いたであろう虫の音を、仕事部屋で扉越しに聞いたという情景は正に現代的である。(小西小牧)

(2点句)

- ・白萩は薄暮の小径がよく似合う・・・・・・・・小西 小牧
- ・父愛(かな)し母が紅引く秋彼岸・・・・・・・・土 龍(秋元)
- ・曼珠沙華墓石の裏の文字を読む・・・・・・・・土 龍(秋元)

(1点句)

- ・空青く並んで二匹赤とんぼ・・・・・・・・皆川 春海
- ・爽やかに素人野球引き分けて・・・・・・・・皆川 春海
- ・柘榴の実口いっぱい赤かな・・・・・・・・漆野 達磨
- ・毒の香に眠りつきたし秋の夜・・・・・・・・朝倉かほる
- ・胡弓の音笠も妖しき風の盆・・・・・・・・妙見 道生(千葉)
- ・いのち燃ゆ夕日の畔に曼珠沙華・・・・・・・・妙見 道生(千葉)
- ・蜻蛉釣り家路は夕陽の中ならむ・・・・・・・・土 龍(秋元)
- ・清けしの蒼茫の空月一つ・・・・・・・・菅原 互酬

⑥句会後記(土 龍:秋元)



「悩み」という程のことではないが、つらつら不思議の思っているは、最高点をとった句に私は一度も投票したことがないことである。皆さんと共感共有する俳句の感性が乏しいのに違いない。「同じ飯食えど侘しき秋の風(土龍)」。と、こんな心騒がしき中、素晴らしい文を見つけた。全文を載せてみよう。「あら物ぐさの翁や。日ごろは人の訪ひ来るもうるさく、人にもまみえじ、人をも招かじと、あまたたび心に誓ふなれど、月の夜、雪の朝のみ、友の慕はるるもわりなしや。物をも言はず、ひとり酒のみて、心に問ひ心に語る。庵の戸おしあけて、雪をながめ、または盃をとりて、筆を染め筆を捨つ。あら物ぐるほしの翁や。「酒のめばいとど寝られね夜の酒」。共感してくれる人ありやなしや、問うてみるもおかしきかな。(以上)

by tngareyama at 07:54

校歌歌いたかったなー
by tngareyama at 08:55

2018年春の早慶戦3回..
by 早稲田OB at 16:31

早慶戦、暑かっただけにビ..
by 早稲田OB at 13:52

この夏に野球もラグビーも..
by 早稲田OB at 11:07

メモ帳 [設定]×

タグ [設定]×

俳句の会「交譲葉」令和2年1月句会報告(3)
令和4年1月22日(2)
令和4年4月23日(1)
令和4年2月26日(1)
令和3年3月26日(1)
令和3年12月25日(1)
俳句の令和3年12月27日句会報告(1)

ブログパーツ [設定]×

ファン [設定]×

記事ランキング [設定]×

流山稲門会は20歳になりました
流山稲門会は2002年7...

稲門ゴルフコンペで“ホールインワン!!”
第64回流山稲門会ゴルフ...

近距離! クリアビューで稲門コンペ開催
第63回流山稲門会ゴルフ...

流山稲門会1区(江戸川台・運河地区) ..
8月11日(金) 17時よ...

4区暑気払い
2020年1月以来の4区...

役員会後の懇親会

本日、初石公民界会議室
に...

駅シネマ同好会

駅シネマ同好会は「TOH...

1区暑気払い開催

8月11日(土) 17時よ...

20周年記念懇親会を開 催しました

コンサートの後第三部は
隣...

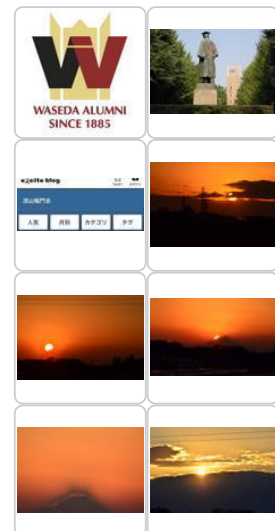
第11回流山稲門会総会音楽イベント

ピアノ独奏 南雲彩 ...

ブログジャンル [設定]×



画像一覧 [設定]×



もっと見る

by [tnagareyama](#) | 2014-10-01 13:05 | 俳句の会「交譲葉」 | [Comments\(0\)](#)

[コメント管理ページに移動する](#)

コメントする

<< 稲門交流パーティ IN 流山 俳句の会「交譲葉」26年8月句会報告 >>

excite.

エキサイトトップに戻る

[XML](#) | [ATOM](#)

Powered by [Excite Blog](#)

[会社概要](#)
[プライバシーポリシー](#)

[利用規約](#)
[個人情報保護](#)
[情報取得について](#)
[免責事項](#)
[ヘルプ](#)